

新ひだか町立病院コラム Vol. 46

新しく採用になった職員を紹介します!!

～皆さんの特徴や自己PRを取材してきました～



令和6年7月1日から町立静内病院でお世話になっている、放射線科の藤村です。
職場が変わったこともあり、非常にフレッシュな気持ちで日々の業務に励んでいます。
放射線技師以外の資格としては、マンモグラフィ認定技師(精度管理中央委員会)、第1種作業環境測定士:放射性物質(作業環境測定協会)を所有しており、地域医療を担う病院の職員として、少しでも地域の皆さまのお役に立てるよう、今後とも研鑽に励んでいきたいと思ひます。

臨床検査技師の背山です。これまで生理機能検査と血液検査などの業務に十数年携わってきました。患者さまと直接かかわる仕事なので丁寧な応対を心がけていきたいと思ひています。困りごとがありましたら気軽にお声がけください。今後ともよろしくお願ひいたします。



緩和ケア認定看護師の杉山基子です。出身は京都府ですが、以前も町立静内病院に勤めており、今回願ひかない2年半ぶりに新ひだか町静内へ戻りました。私は「馬」とくにサブレットが大好きであり、この素敵な地域で、皆さんのお役に立ちたいと思ひております。
緩和ケアとは、生命を脅かす病気にかかり、色んなことに悩んでいる患者さん・ご家族に多方面から支援(お手伝い)をする仕事です。日本では主にがん患者さんの痛みや悩み、不安等に対してお手伝いをしています。最近、他の病気も対応するようになってきました。一人で悩まず、まずご相談ください。

検査技師の茨木(いばらぎ)です。これまで超音波検査で頭から足までいろいろな場所を検査できるよう力を入れてきました。特に心臓や血管などの循環器疾患では、その診断や手術した後の状態を診ることも得意で、「超音波検査士(循環器、血管領域)」「血管診療技師」「フットケア指導士」の認定資格を取得しています。それ以外にも消化器(泌尿器)、表在(甲状腺、皮膚)整形外科、前立腺や婦人科まで超音波で診ることが出来ます。他にも医療政策、経営などを大学院で学び、病院の力になりたいと思ひます。一番は「患者さまのために」をモットーに地域の皆さまのお役に立ちたいです。



院長のつぶやき

院長の小松です。医療従事者確保が困難な中、今年度、頼もしいスタッフに入職していただきました。

当院は循環器疾患の患者さまが多く受診されるため、心エコー検査やホルター心電図検査件数が増えています。その中で、心臓血管エコー検査を担当していただく「藤村技師」は、診療放射線技師とエコー検査技師という「二刀流」で頑張っています。「茨木技師」は、エコー検査の領域が心臓血管だけではなく、他領域のエコー検査も得意としている「オールラウンダー」です。同じく検査部門の「背山技師」は、生理機能の「全般」を担っています。この3人体制でより多くの患者さまへの検査サービス提供が可能となっています。

また以前、当院在職中にがんの終末期医療に関するガイドラインを作成していただいた「杉山看護師」が復職してきてくれました。日高に限らずですが、がん患者さまとその家族においては「終末期医療」とか「緩和医療」という話が出ますと、どうしてもネガティブな感情が出てきてしまいがちです。私たちは「がん」による痛みや苦痛を取り除くだけではなく、生活していくうえでの悩みや不安等にも寄り添って、前向きになって行けるようにしたいと思ひております。4人の今後の活躍に目を離せません。

作成:新ひだか町立病院

📍町立静内病院 ☎42-0181(代表)

新ひだか町静内緑町4丁目5-1

📍三石国保病院 ☎33-2231(代表)

新ひだか町三石本町214番地

インフル予防接種の受付はじめてます



←WEB予約が便利!!